# 外国居住者等所得相互免除法に関する届出書

税務署整理欄 For official use only/

APPI ICATION FORM FOR	THE MIITIIAL	EYEMPTION I A	W FOR INCOME	OF FOREIGN	RESIDENT ETC



対象使用料に対する所得税の軽減(復興特別所得税の非課税) Relief from Japanese Income Tax and Special Income Tax for Reconstruction on Royalties

この届出書の記載に当たっては、別紙の注意事項を参照してください。 See separate instructions. 適用;有、無 番号 確認 身元 確認

To the District Director, \_\_\_\_\_Tax Office

適用を受ける外国居住者等所得相互免除法の規定に関する事項; Applicable Article of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. 外国居住者等所得相互免除法第<u>15</u>条第<u> </u>項 The Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. Article<u>15</u>, para.

2 対象使用料	∤の支払を受ける者に	関する事項(注8);	Details	of Recipi	ent of b	Koyalties	s (Note	8)							
氏 名	又 は Full name	名 称													
個 人 i ( 有 す Individu (Li	番 号 又 は る 場 合 の al Number or Corp mited to case of a	法 人 番 号 み 記 入 ) orate Number holder)										-		1	
個人の場合 Individual		は 居 所 r residence								(	電話番	:号 Te	elephon	ie Num	ber)
法人その他の	本店又は主たる事務所の所在地 Place of head office or main office									(	電話番	:号 Te	elephon	ie Num	ber)
団体の場合 Corporation or other	設立又は組織された場所   Place where the Corporation was														
entity	事業が管理・支配されている場所(注9) Place where the business is managed and controlled (Note 9)									(	電話番	:号 Te	elephon	ie Num	ber)
下記「4」の対象使用料につき居住者として課税される外国及び納税地(注10) Foreign country where the Recipient is taxable as resident on Royalties mentioned in 4 below and the place where he is to pay tax (Note 10)								(納利	说者番号	号 Ta	xpayer	r Iden	tificatio	on Num	ber)
Japan	等の状況	名 称 Name													
	establishment in	所 在 地 Address								(	電話番	:号 Te	elephon	ie Num	ber)
□有(Yes) If "Yes",	, 山無(No) explain:	事業の内容 Details of Business													

3 対象使用料の支払者に関する事項: Details of Paver of Royalties

3 対象使用料の支払者に関する事	項;Details of Payer	of Royalties						
氏 名 又 は Full name	名 称							
住所(居所)又は本店(主たる Domicile (residence) or Place of hea					(電話番号	† Telephoi	ne Number)	
個人番号又は (有する場合の Individual Number or Corporate Number (Li								
日本国内にある事務所等	名 称 Name					(事業の内容	E Details o	f Business)
Office, etc. located in Japan	所 在 地 Address					(電話番号	† Telephoi	ne Number)

4 上記「3」の支払者から支払を受ける対象使用料で「1」の外国居住者等所得相互免除法の規定の適用を受けるものに関する事項(注11); Details of Royalties received from the Payer to which the provisions of the Article mentioned in 1 above is applicable (Note 11)

対象使用料の内容 Description of Royalties	契約の締結年月日 Date of Contract	契約期間 Period of Contract	対象使用料の計算方法 Method of Computation for Royalties	対象使用料の支払期日 Due Date for Payment	対象使用料の金額 Amount of Royalties

5	その他参考となるべき事項(注12); Others (Note 12)

日本の税法上、「2」の欄に記載した外国法人が納税義務者とされるが、その外国法人に係る外国では、その外国法人の株主等である者が納税義務 者とされており、かつ、その外国の法令の規定によりその外国法人の株主等である者(その外国の居住者に限ります。)の所得として取り扱われる部分に対して外国居住者等所得相互免除法第15条第3項の規定の適用を受ける場合の同項の規定の適用を受ける割合に関する事項等(注4); Details of proportion of income to which the provisions of Article 15, paragraph 3 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign

Resident, etc. is applicable, if the foreign company mentioned in 2 above is taxable as a company under Japanese tax law, and the member of the company is treated as taxable person in the foreign country where the head office or main office of the foreign company is located; and if the provisions of Article 15, paragraph 3 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable to income that is treated as income of the member (limited to a resident of the foreign country) of the foreign company in accordance with the provisions of the law of the foreign country (Note 4)

「2」の欄に記載した外国法人が支払を受ける「4」の対象使用料については、その外国法人に係る外国において、次の法令に基づいて、次の日 以後、その外国法人の株主等である者が課税されることとされています。

The member of the foreign company mentioned in 2 above is taxable in the foreign country where the head office or main office of the foreign company is located regarding the royalties mentioned in 4 above since the following date under the following law of the foreign country.

根拠法令 効力を生じる日 在. 月 Н Applicable law Effective date

••		_	
「2」の欄に記載した外国法人の株主等である者で外国居住者等所得相 互免除法第15条第3項の規定の適用を受ける者の氏名又は名称 Name of member of the foreign company mentioned in 2 above, to whom the provisions of Article 15, paragraph 3 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable	間接保有 Indirect Ownership	持分の割合 Ratio of Ownership	外国法人の株主等である者の所得として取り扱われる部分の割合= 外国居住者等所得相互免除法第15 条第3項の規定の適用を受ける割合 Proportion of income that is treated as income of the member of the foreign company = Proportion for Application of the provisions of Article 15, paragraph 3 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc.
		%	%
		%	%
		%	%
		%	%
		%	%
合計 Total		%	%

日本の税法上、「2」の欄に記載した団体の構成員が納税義務者とされるが、その団体が設立された外国では、その団体が納税義務者とされてお かつ、その外国の法令の規定によりその団体の所得として取り扱われるものに対して外国居住者等所得相互免除法第15条第5項、第7項又は第 9項の規定の適用を受ける場合の記載事項等(注5);

Details if, while the partner of the entity mentioned in 2 above is taxable under Japanese tax law, the entity is treated as taxable person in the foreign country where the entity was established, and if the provisions of Article 15, paragraph 5, 7, or 9 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable to income that is treated as income of the entity in accordance with the provisions of the law of the foreign country (Note 5)

「2」の欄に記載した団体の構成員が支払を受ける「4」の対象使用料については、その団体が設立された外国において、次の法令に基づいて、 次の日以後、その団体が課税されることとされています。

The entity mentioned in 2 above is taxable in the foreign country where the entity was established regarding the royalties mentioned in 4 above since the following date under the following law of the foreign country.

根拠法令			効力を生じる日	年	月	日
Applicable law			Effective date			

他の全ての構成員から通知を受けこの届出書を提出する構成員の氏名又は名称 Full name of the partner of the entity who has been notified by all other partners and is to submit this form

「4」の欄に記載した対象使用料が「1」の外国居住者等所得 相互免除法の規定の適用を受けるものであることを、「外国居住者等の 所得に対する相互主義による所得税等の非課税等に関する法律施行規 則」及び「復興特別所得税に関する省令」の規定により届け出るととも に、この届出書の記載事項が正確かつ完全であることを宣言します。

	年	月	日
Date			
Date			

In accordance with the provisions of the Ordinance for Enforcement of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. and the Ministerial Ordinance concerning Special Income Tax for Reconstruction, I hereby submit this application form under the belief that the provisions of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. mentioned in 1 above is applicable to Royalties mentioned in 4 above and also hereby declare that the statement on this form is correct and complete to the best of my knowledge and belief.

対象使用料の支払を受ける者又はその代理人の署名 Signature of the Recipient of Royalties or his Agent -

代理人に関する事項 ; この届出書を代理人によって提出する場合には、次の欄に記載してください。 Details of the Agent ; If this form is prepared and submitted by the Agent, fill out the following columns

because of the rigent, in this form to propared and submitted by the rigent, in out the following columns.									
代理人の資格 Capacity of Agent in Japan	氏名(名称) Full name		納税管理人の届出をした税務署名 Name of the Tax Office where the Tax Agent is registered						
Tax Agent フ その他の仕押 l	住所(居所・所在地) Domicile (Residence or location)	(電話番号 Telephone Number)	税務署 Tax Office						

「納税管理人」とは、日本国の国税に関する申告、申請、請求、届 出、納付等の事項を処理させるため、国税通則法の規定により選任 し、かつ、日本国における納税地の所轄税務署長に届出をした代理人 をいいます。

\* "Tax Agent" means a person who is appointed by the taxpayer and is registered at the District Director of Tax Office for the place where the taxpayer is to pay his tax, in order to have such agent take necessary procedures concerning the Japanese national taxes, such as filing a return, applications, claims, payment of taxes, etc., under the provisions of Act on General Rules for National Taxes.

「外国居住者等所得相互免除法に関する届出書(対象使用料に対する所得税の軽減(復興特別所得税の非課税))」に関する 注意事項

INSTRUCTIONS FOR "APPLICATION FORM FOR RELIEF FROM JAPANESE INCOME TAX AND SPECIAL INCOME TAX FOR RECONSTRUCTION ON ROYALTIES"

### 一注 意 事 項

### 届出書の提出について

- この届出書は、対象使用料(外国居住者等の所得に対する相互主義による所得税等の非課税等に関する法律(この届出書において「外国居住者等所得相互免除法」といいます。)第15条第29項第3号に規定する対象使用料をいいます。この届出書において同じです。)に係る日本国の所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額について外国居生業等所得相互免決策に条第1項第2項第2項目 本等所得相互免除法第15条第1項、第3項、第5項、第7項又は第9項の規定の適用を受けようとする場合に使用します。 この届出書は、対象使用料の支払者ごとに作成してください。 この届出書は、正副2通を作成して対象使用料の支払者に提出し、
- 対象使用料の支払者は、正本を、最初にその対象使用料の支払をする 日の前日までにその支払者の所轄税務署長に提出してください。この 届出書の提出後その記載事項に異動が生じた場合も同様です。
- 外国居住者等所得相互免除法第15条第3項の規定の適用を受ける場 合には、次の点にご注意ください。

外国法人であって、その外国法人に係る外国ではその外国法人の株 主等である者が納税義務者とされるものが支払を受ける対象使用料については、その外国の居住者である株主等である者の所得として取り 扱われる部分についてのみ外国居住者等所得相互免除法第15条第3項

- 扱われる部分についてのみ外国居任者等所得相互免除法第15条第3項の規定の適用を受けることができます。上記に該当する外国法人は、この届出書に次の書類を添付して提出してください。① 外国居住者等所得相互免除法第15条第3項の規定の適用を受ける対象使用料について、届出書の「2」の欄に記載した外国法人の株主等である者が、その外国法人に係る外国において課税されていることを明らかにする書類(外国語で作成されている場合には、その翻訳文を含みます。③において同じです。)
  ② 「外国法人の株主等の名簿(様式10)」
  ② 外国民任者等所得相互免除法第15条第3項の規定の適用を受ける
- 外国居住者等所得相互免除法第15条第3項の規定の適用を受ける とができる株主等である者がその外国法人の株主等であることを 明らかにする書類
- 外国法人に係る外国の租税に関する権限のある機関の株主等であ る者に関する居住者証明書
- 外国居住者等所得相互免除法第15条第5項、第7項又は第9項の規

定の適用を受ける場合には、次の点にご注意ください。 外国において設立された団体であって、日本ではその構成員が納税 義務者とされるものの構成員(その団体が設立された外国の居住者だ けでなく、それ以外の国の居住者や日本の居住者も含みます。以下同 じです。)は、この届出書に次の書類を添付して提出してください。

なお、その団体の構成員のうち特定の構成員が他の全ての構成員から「団体の構成員の名簿(様式10)」に記載すべき事項について通知を受け、その事項を記載した「団体の構成員の名簿(様式10)」を提 出した場合には、全ての構成員が届出書を提出しているものとみなさ れます。 ① これらの規定の適用を受ける対象使用料について、届出書の

- 「2」の欄に記載した団体が、その団体が設立された外国において 課税されていることを明らかにする書類(外国語で作成されている 場合には、その翻訳文を含みます。③において同じです。)
- 「団体の構成員の名簿 (様式10)」
- 「団体の構成員の名簿(様式10)」に記載された構成員が届出書 の「2」の欄に記載した団体の構成員であることを明らかにする書
- 外国の租税に関する権限のある機関の団体に関する居住者証明書
- この届出書を納税管理人以外の代理人によって提出する場合には、 その委任関係を証する委任状をその翻訳文とともに添付してくださ

### 届出書の記載について

- 届出書の□欄には、該当する項目について✔印を付してください。 届出書の「2」の各欄には、外国居住者等所得相互免除法第15条第 1項の規定の適用を受ける場合には、対象使用料の支払を受ける者に
- ついて記載してください。

また、外国居住者等所得相互免除法第15条第3項の規定の適用を受 ける場合には、対象使用料の支払を受ける外国法人について、外国居住者等所得相互免除法第15条第5項、第7項又は第9項の規定の適用 を受ける場合には、対象使用料の支払を受ける者が構成員となってい る外国において設立された団体について、それぞれ記載してくださ

### -INSTRUCTIONS-

#### Submission of the FORM

- 1 This form is to be used by the Recipient of Royalties (meaning Royalties prescribed in Article 15, paragraph 29, item 3 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc.; the same applies in this form) in claiming the application of Article 15, paragraph 1, 3, 5, 7 or 9 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. to Japanese Income Tax and Special Income Tax for Reconstruction.
- This form must be prepared separately for each Payer of Royalties.
- 3 This form must be submitted in duplicate to the Payer of Royalties, who has to file the original with the District Director of Tax Office for the place where the Payer resides, by the day before the payment of the Royalties is made. The same procedures must be followed when there is any change in the statements on this form.
- In the case where the provisions of Article 15, paragraph 3 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable, the next point should be noted.

In case of income that is received by a foreign company whose member is treated as taxable person in the foreign country where the head office or main office of the foreign company is located, the provisions of Article 15, paragraph 3 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable only to members that is treated as income of members that are residents of the foreign country. Such a foreign company should attach the following documents to this form:

- Documents showing that the member of the foreign company mentioned in column 2 is treated as taxable person in the foreign country regarding Royalities, together with their Japanese translations.
- "List of the Members of Foreign Company (Form 10)"
- Documents showing that the member to whom the provisions mentioned above is applicable is a member of the foreign company, together with their Japanese translations.
- The residency certification for the member of the foreign company of competent authority regarding taxation of the foreign country.
- In the case where the provisions of Article 15, paragraph 5, 7 or 9 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable, the next point should be noted.

A Partner of an entity that was established in the foreign country (including a partner that is resident of Japan or any other country, in addition to the foreign country where the entity was established; the same applies below) and whose partners are taxable persons in Japan must submit this form attached with the following documents.

If a specific partner of the entity is notified of required information to enter in "List of the Partners of Entity (Form 10)" by all other partners and submits "List of the Partners of Entity (Form 10)" filled with the notified information, all of the partners are deemed to submit the application form.

- Documents showing that the entity mentioned in column 2 is treated as taxable person in the foreign country regarding Royalities, together with their Japanese translations.
- "List of the Partners of Entity (Form 10)"
- Documents showing that the partners mentioned in "List of the Partners of Entity (Form 10)" are partners of the entity mentioned in column 2, together with their Japanese translations.
- The residency certification for the entity of competent authority regarding taxation of the foreign country.
- An Agent other than the Tax Agent must attach a power of attorney together with its Japanese translation.

## Completion of the FORM

- Applicable boxes must be checked.
- In the case where the provisions of Article 15, paragraph 1 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable, enter into column 2 Recipient of Royalties.

In the case where the provisions of Article 15, paragraph 3 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable, enter into column 2 foreign company which receives Royalties.

In the case where the provisions of Article 15, paragraph 5, 7 or 9 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable, enter into column 2 entity that was established in the foreign country whose members receive Royalties.

[Continue on the reverse]

9 届出書の「2」の「事業が管理・支配されている場所」欄には、外 国居住者等所得相互免除法第15条第1項の規定の適用を受ける場合に は、対象使用料の支払を受ける者の事業が管理されている場所を記載 してください。

また、外国居住者等所得相互免除法第15条第5項、第7項又は第9項の規定の適用を受ける場合には、対象使用料の支払を受ける者が構成員となっている外国において設立された団体の事業が管理され、かつ、支配されている場所を記載してください。

外国居住者等所得相互免除法第15条第3項の規定の適用を受ける場合には、記載する必要はありません。

- 10 納税者番号とは、租税の申告、納付その他の手続を行うために用いる番号、記号その他の符号でその手続をすべき者を特定することができるものをいいます。支払を受ける者の居住地である外国に納税者番号に関する制度が存在しない場合や支払を受ける者が納税者番号を有しない場合には納税者番号を記載する必要はありません。
- 11 届出書の「4」の各欄には、対象使用料の支払を受ける者が外国居住者等所得相互免除法第2条第6号に規定する国内事業所等(対象使用料の支払を受ける者が人的役務の提供を行う者である場合には、外国居住者等所得相互免除法第2条第6号イに掲げる国内事業所等(固定的施設)。以下同じです。)を有する場合は、その国内事業所等に帰せられない対象使用料について記載してください。
- 12 届出書の「5」の欄には、「2」から「4」までの各欄に記載した 事項のほか、外国居住者等所得相互免除法第15条第1項、第3項、第 5項、第7項又は第9項の規定の適用を受けるための要件を満たす事 情の詳細を記載してください。

この届出書における「外国」とは、外国居住者等所得相互免除法第2条第3号に規定する外国をいいます。

なお、この届出書に記載された事項その他外国居住者等所得相互免除 法の規定の適用の有無を判定するために必要な事項については、別に説 明資料を求めることがあります。 9 In the case where the provisions of Article 15, paragraph 1 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable, enter into item "Place where the business is managed and controlled" of column 2 place where the business of the Recipient of Royalties is managed.

In the case where the provisions of Article 15, paragraph 5, 7 or 9 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable, enter into item "Place where the business is managed and controlled" of column 2 place where the business of entity that was established in the foreign country whose members receive Royalties is managed and controlled.

In the case where the provisions of Article 15, paragraph 3 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. is applicable, it is not necessary to enter into item "Place where the business is managed and controlled" of column 2.

- 10 The Taxpayer Identification Number is a number, code or symbol which is used for filing of return and payment of due amount and other procedures regarding tax, and which identifies a person who must take such procedures. If a system of Taxpayer Identification Number does not exist in the foreign country where the Recipient resides, or if the Recipient of the payment does not have a Taxpayer Identification Number, it is not necessary to enter the Taxpayer Identification Number.
- 11 In the case where the Recipient is a person who carries on business or a company, enter into column 4 Royalties which are not attributed to a permanent establishment (limited to what falls under the category of places of business in Japan prescribed in Article 2, item 6 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc.) of the Recipient (such Royalties as are not accounted for in the books of the permanent establishment).

In the case where the Recipient is a professional, an entertainer or a sportsperson, enter into column 4 Royalties which are not attributed to a fixed base (limited to what falls under the category of places of business in Japan listed in Article 2, item 6 (a) of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc.) of the Recipient.

12 Enter into line 5 details of circumstance that the conditions for the application of the provisions of Article 15, paragraph 1, 3, 5, 7 or 9 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. are satisfied, in addition to information entered in columns 2 through 4.

The term "foreign country" as used in this application form means country or region outside Japan prescribed as foreign country in Article 2, item 3 of the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc.

If necessary, the applicant may be requested to furnish further information in order to decide whether relief under the the Mutual Exemption Law for Income of Foreign Resident, etc. should be granted or